

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 30

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43812">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43812</a>

才三波全軍六方入ト

ノカヒ  外政事務官 次官 次次 国務官 人事官 委員会常設 資本  参謀企  参照部  参地中東 東北 参北  参一二  参西東洋 西南  参寄近ア  次經國万  參資統國 參政技二 國一選  參政經科 貿易專  參通内外  文書	<p><b>注 意</b> <i>(2)</i></p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。</p> <p>電信写 174</p> <p>總番号(TA) 9287 71年2月24日17時50分 津 銚 第 米北 / 71年2月25日19時23分 本 省 著 外務大臣 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理</p> <p>全軍方スト対策(配置転換)</p> <p>第246号、略 貴電米北/第41号に関し 24日バーク再雇用調整官はスズキに対し次の通り語つた      1. 軍側は配置転換等調整に努力しており。現在3月5日解雇予定者(当初発表650人、予告者621人)は434人に減少しており、更に20ないし30人減少する見込である。      2. 現在予告を受けている者は次の通り。      (1) O&amp;E 97名(1月18日予告、3月19日解雇)      (2) 海兵隊(マテジマ) 43名(1月25日予告、3月31日解雇)      (3) 空軍第2次 274名(2月16日予告、4月15日解雇)      3. 全軍方が配置転換、退職希望への切替えを拒否せず、むしろこれを望んでいる(往電第234号2。(2)参照)   </p> <p><b>注 意</b> <i>(2)</i></p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。</p> <p>電信写</p> <p>(れで) とは好ましい現状あり。上記2。についても今後相当の配置転換が行なわれるものと信じているが、調整には時間を要すると思う。</p> <p>《了》</p> <p>-2-</p> <p>外務省</p>
--	---

ソカ ドリ	
注意 (ソカドリ)	
大政事外儀官 務務 次次 電信写	
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
総番号(TA) 10250 71年3月1日 10時25分 沖縄県発着 71年3月1日 11時18分 本省着 主管 米北	
臣官宣密審長 機密人電厚計 機密文書会議給 調査長 国資長 参謀企 外務大臣殿 高瀬大使 隨時代理大使 総領事 代理	
コンディション・グリーン等の命令	
<p>オ259号 平至急 往復オ256号に附し 25日午後6時より金島にコンディション・グリーンを、26日前2時よりカタナオエゲート通りにグリーン・ワゴンを発令する(同時にオエゲートを閉鎖する)旨を発表した。(3)</p>	
<p>ア 参地中東 長 北西 米 参北北保 中 参一二 南 参一二 欧 参西東洋 長 西東 近 参港近ア 長 次級經國 長 參貿統二 經 協長 条 参條協規 國 參政科 長 軍社專 長 參道内外 文 一二</p>	
外務省	

  

ソカ ドリ	
注意 (ソカドリ)	
大政事外儀官 務務 次次 電信写	
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
総番号(TA) 1123 70年3月12日 12時55分 沖縄県発着 70年3月19日 19時27分 本省着 主管 米北	
外務大臣殿 高瀬大使 隨時代理大使 総領事 代理	
金翠条件 (Condition Greenの解除)	
<p>オ271号 平 往復オ259号に附し 1日午後6時より金島にコンディション・グリーンを、26日前2時よりカタナオエゲート通りにグリーン・ワゴンを発令する(同時にオエゲートを閉鎖する)旨を発表した。(3)</p>	
<p>ア 参地中東 長 北西 米 参北北保 中 参一二 南 参一二 欧 参西東洋 長 西東 近 参港近ア 長 次級經國 長 參貿統二 經 協長 条 参條協規 國 參政科 長 軍社專 長 參道内外 文 一二</p>	
外務省	

ソカ ヒビ		注 意	
		1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
大政革新外儀官 務務 典房 次次 臣官官審審長 儀總人電原計 儀書文会會給		電信写	
調査員 企析調 領移長 參領旅移		140	
総番号(TA) / 6818 7/年 4月 1日 15時 15分 沖縄 主管 7/年 4月 1日 15時 26分 本省 番号 外務大臣殿 高橋大使 臨時代理大使 総領事 代理		22 ソカ ヒビ	
全軍労スト(第3ばを決定)		注 意	
第358号 平至急 往電第277号に関し 全軍労は3月31日よるの中央闘争委員会において第3ば スト決行を次の通り決定した。 1/4日午前0時より48時間ストを行なう。 2. ピケその他の戦術を第1や2はより強化する方針で具 体的戦術は8日の中央委員会で決定する。 3. エタスチエンジ支部及びナハ支部の組合活動家に対する 弾圧に抵抗するため、全組織的支援を行なう。(エタス チエンジ支部においては独自の闘争ハケジールを組む) なお、スト実施を1/4日としたのは、空軍関係第2次解雇 が1/5日となつていてこと及びken労協が1/5日に計画し ている統一ストと合わせるための由。 (了)		1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
ア 参地中東 最北東西 米長 參北北保 中南審 欧長 參西東洋 西東 近ア 参審近ア 經次總經國 長參貿總國 經協長 參政技二 國一理 參勞協規 是國 參政經科 長軍社專 參道内外 文長 一二		電信写	
総番号(TA) / 109 2/年 4月 1日 17時 05分 沖縄 主管 2/年 4月 1日 17時 05分 本省 番号 外務大臣殿 高橋大使 臨時代理大使 総領事 代理		22 ソカ ヒビ	
ジエイコブソン記者会見		ジエイコブソン記者会見	
第380号 平 往電第358号に関し 7日ジエイコブソンJSLO議長は記者会見を行ない 。全軍労の第3ばスト及びORE支部のおきなわ人従業員 のちようかい解雇処分につき要旨次の通り語つた。 (1) 3月29日に全軍労と団交し、春闘、復帰後の労働 問題について話し合い、話がうまく進んでいたと思つてい たや先/4日から48時間の第3ばストを決定したとい ことでおどろいている。 (2) 合同委としては、復帰後の雇用体制につき全軍労の 意見を聞きたいと思っていた時期に、実力行使を決定した ことは今会計年度内の諸問題解決のさまたげとなるだけだ 。 (3) 実力行使はken労協に引きつられた政治的なもので ある。 (4) ORE支部の平川デンセイ(同支部監察係で組合活 動家)は過去6回規則違反をし、ちようかい解雇通告を受		ジエイコブソン記者会見	
外務省		外務省	

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

電 信 写

けているが、合同委はこれに代り任意退職を提案した。しかし、同支部がこれを拒否し、8日よりリストに入るというので平川の解雇処分が決定し、自主退職の場合もらえる／・900ドルの利益も失なう。

(了)

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

電 信 写

大政事外傍官  
務湯典房  
次次  
臣官宣審長民  
儀給人電厚計  
書文会宮給  
調査長  
企析調  
領移長  
參領旅移  
總番号(TA) / 8790  
71年4月13日11時30分 沖縄 主管  
71年4月13日11時36分 本省 発着  
外務大臣殿 高瀬 天使 臨時代理大使 総領事 代理

全軍労スト

第390号 略 至急

往電第358号に関し

12日スキをして全軍労トモヨリに照会せしめたる処次の通り。

1. 13日17時より、フテンマにおいてスト決行宣言大会を行なう。

2. 戰術としてはちゅう間のピケに重点を置きや間は避ける。カデナ、ナハ A.B.、ナハ軍港、マキミナト。サービス地区、キャンプ。マーシー等に重点的にピケを行なう。特にカデナ第2ゲートには大量動員を行なう。

3. 保安要員、水道、電気、消防以外はすべて入門を止める。従つてメイド、特免業者等も入門しないよう説得する。

4. スクールバスの入門については何時も問題となるので、非公式に米軍と話し合つて見る。

5. 15日14時より、ナハ市ヨギ公えんてけん労協統一スト総括大会に参加するが、空軍支部では別途コザで独自

カヒ

大政事外傍官

務湯典房

次次

臣官宣審長民

儀給人電厚計

書文会宮給

調査長

企析調

領移長

參領旅移

ア参地中東

長東西

米参北北保

中南参一二

歐参西東洋

長西東

近ア参書近ア

長經次總經國万

長參貿統國

經參政技二

協國一理

參參條協規

國參政經科

長軍社專

情參道内外

文長一二

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

の大会を計画しており、調整が必要である。

(了)

— 2 —

外 務 省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

総番号(TA) 18822  
71年4月18日16時09分  
71年4月18日16時11分  
主 管  
沖縄県  
発着料

外務大臣殿 **新宿** 大使 隨時代理大使 総領事 代理

全軍労第3ばスト突入宣言大会、けん労協4・15統一ス  
ト

第392号 平至急

往電第390号に關し

1. 13日午後5時より約30分間、フテシマ第2小学校  
広場において全軍労第3ばスト突入宣言大会が行なわれる  
(大会参加人員見込約1500名)、今回のストにおいて  
は、や間ピケは行なわないとの由。なお、今回のストにおいては第2ゲートは閉ざされないことになっており。そのため14日午前5時30分にギノウン全軍労連とん本部に  
全軍労関係者が集合し、バスにて第2ゲートに行きピケに  
配置される予定になつてゐるが、これは業者との無用のし  
よう突を回避するために考慮された措置であるとの由。な  
お、15日午後3時コザ市総合グラウンド横広場(ヨギ公  
えんを変更)においてけん労協統一スト総括大会及びデモ  
が行なわれる予定。

2. 13日午後3時よりコンディイション・グリーンが全お  
ぎなわに発令された。

外 務 省

ソカ  
ヒ

外政事外機官

秘務 典房

次次

臣官官密審長

催総入電厚計

書文会議給

調査長

企划調

領移

參領移

長

### 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

経番号(TA) / / / /  
71年 月 日 時 分  
71年 月 日 時 分

主 管  
沖縄 省 着  
本 省

外務大臣殿

新嘉坡大使

臨時代理大使 総領事 代理

全軍労スト

第394号 略 至急

往電第390号に関し

1. 全軍労トモヨリは、13日ズスキの照会に対し要旨次の通り述べた。

(1) 12日午前四軍合同労働委と非公式交渉を行ない、ピケ及び軍側の警備体制につき双方共相手をし激しないよう統制ある行動を行なうことを確認した。

(2) スクールバスの入門については、これをそ止することは機關決定であり、また支援団体の関係もあつてトラブルが起らないとの保証がないため拒否した。ただし、軍人が運転する場合は入門は認めることとした。(軍人が運転することは、困難であるとJSLCでは述べている)

2. コザ市業者筋よりニツタがちよう取したところによれば、同市業者は、今次全軍労ストに伴なう第2ゲート、ピケに対して、(1) 抵抗活動を行なうにも資金が不足していること、(2) 最近 A サイン業者に対する M P の取締りが厳しくなつておる、業者の中には基地経済からの脱却を

### 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

意図してカジノを設立しようと主張するものが多くなりつつあるおりから、かかる際にピケ隊とのしよう突をじやつ起することは却つて反カジノ・グループに利することとなる。との判断のもとに、現在はせい観の構えをとつている由。

3. コザ業者の動きについては、上記せい観説に対して当日の現場ふん囲気の如何によつてはピケ破りの直接行動をとりうるため、ひそかに行動分子の招募を開始しているとの説もある。

(丁)

ソカヒ	
注意	
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
114	
外務省外務官 務典房 次 臣官宣審長 儀鑑人電厚計 書文会常給	
電信写	
総番号(TA) 19050 71年4月14日 1時35分 神奈川県 71年4月14日 1時39分 本省着	
主管 神奈川県 本省着	
調査長 参企研調 領移長 参領旅移	
外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理	
任全軍労スト	
第396号 平至急 (優先処理)	
往電第394号に關し	
14日。現地に派遣せる下西おきなわ事務局法務課員によれば、同日午前8時過ぎ、過激派学生等の支援団体を含む約1,000名のピケ隊がカデナ基地第2ゲートに到来し、基地内に投石を始めたためゲートは暫定的に閉ざされた。同8時半ごろ、右支援団体を含むピケ隊員は、警備中の機動隊に投石し、その結果双方に30名余の負しよう者及びたいほ者3名を出した由。取りあえず。	
(了)	
外務省	

  

ソカヒ	
注意	
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	
207	
外務省外務官 務典房 次 臣官宣審長 儀鑑人電厚計 書文会常給	
電信写	
総番号(TA) 19050 71年4月14日 20時35分 神奈川県 71年4月14日 20時39分 本省着	
主管 神奈川県 本省着	
調査長 参企研調 領移長 参領旅移	
外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理	
全軍労第3ばスト。機動隊とピケ隊激突	
第399号 平至急	
往電第396号に關し	
ナカヤマがりゆう警幹部よりちよう取したところによれば、14日午前8時半ごろ、第2ゲートにおいて、すわり込んでいるピケ隊員に対し車両通行の通り道をあけるよう指示したところも全軍労。マキミナトせい年支部(電信注:マキミナトせい年支部)、草マル、マスコミ共闘等を中心とする約1500名のデモ隊が長いはたぎおと投石。ビールびん等をもつて警察官側(約250名)におそいかかり。46名の負しよう者を出した。(労組側負しよう3名)警察側は9時7分解散命令を出し排除したが、あとには石とビールびんの割れ残りであたかも市がい戦のあとを思わせるようであり、その整理にも大分手間がかかつた由。このデモ隊のしゆう撃は従来に見られない激しさであり、せんえい化傾向が見られる。これに対しせい観して来た業者はふんがいし、明日の統一スト総括大会には報復的措置に出る動向があり。警察側は最大動員をもつて堅かいに当る体制をとっているとの由。(了)	
外務省	

<p style="text-align: center;">ソカヒ</p> <p><b>注 意</b></p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。</p> <p>電信写</p> <p>大政事外機官 務務 典房 次次 民官官審議長 領総人電厚計 書文会常給</p> <p>調査参企析調 長領移 參領旅務 長</p> <p>ア 参地中東 長 北東西 参北北保 中南審 歐 參西東洋 長 西東 長</p> <p>近ア長 次經國審 經 長參貿統 經協 長參政技 國一理 長參政科 長軍社專 長參道内外 文長</p>	<p style="text-align: right;">196</p> <p style="text-align: center;">ソカヒ</p> <p><b>注 意</b></p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。</p> <p>電信写</p> <p>大政事外機官 務務 典房 次次 民官官審議長 領総人電厚計 書文会常給</p> <p>調査参企析調 長領移 參領旅務 長</p> <p>ア 参地中東 長 北東西 参北北保 中南審 歐 參西東洋 長 西東 長</p> <p>近ア長 次經國審 經 長參貿統 經協 長參政技 國一理 長參政科 長軍社專 長參道内外 文長</p> <p style="text-align: center;">40.15統一スト</p> <p><b>第401号 緩急</b> 15日フィアリー民政官、モールズ政治顧問の当方に述べたスト評価次の通り。      (1)弁務官不在中留守をあずかる民政官としては、米人をインボルブするような事件がなくて終了したことにはつとしている。      (2)支援団体は別として、全軍労自体はちつとあるストに努力したものと認む。      (3)りゆうきゆう警察の治安確保の能力は、前回よりも一段と向上したものと認められる。      (4)ヤラ主席が、弁務官へのかねての約束にもかかわらず、今回のストに際して事前に何らの努力もしなかつた(結果の成否はともかくとして)ことには失望した。(主席は、スト前日に労働局長ナカマツに組合側との接触を指示。ナカマツはそれを下僚に命じただけであつた)。      (5)弁務官不在のため、單側特にジョンソン空軍司令官の頑固な対決論を説得するのにく労した。(空軍はゲートの自発的閉鎖は敗北主義なりとして最後までがえんじなか)   </p> <p style="text-align: right;">19383</p> <p style="text-align: center;">40.15統一スト</p> <p><b>第403号 平至急</b> 往電第399号に関し 15日の統一ストには、4日から第3ばスト中の全軍労をはじめ官公労、自治労、全てなど各単産約4万8000名が参加したとけん労協は発表した。      2. 15日午前11時半コザ市第2ゲートにおいてビケ駆がシグザグデモを行ないこれを規制しようとした警官隊としよう突く2人が公務執行ぼう害罪でたいほされた。      3. 午後3時、コザ市総合グラウンド横広場において4.15統一スト総括大会が開かれた。参加人員約6,800名(けん労協発表25,000名)。かつてない盛り上がりであるとの由。なお、大会には反戦グループの米人ピーターベーバラ(男)とペーベラ(女)が参加し、激励演説を行なつた。午後5時、デモ行進をシグザグを行なつて交通の混亂を起こしたが概して平おんに終つた。業者は、日思会を中心約150名集まつたが異常に多く、午後6時過ぎ解散した。</p> <p style="text-align: right;">外務省</p>
--	--

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

296

外政省外儀官

務務 典房

次次

臣官官連書長

儀總人電厚計

書文会當給

調査長

企析調

領移長

參領旅移

電信写

総書号(TA)79391

71年4月16日11時15分 神 議 稽  
71年4月16日11時22分 本 省 稽

外務大臣殿 高瀬(大使)臨時代理大使 総領事 代理

全軍労スト

第404号 平至急

往電第390号に關し

全軍労ミシダ委員長は、15日午後記者会見を行ない要旨  
の通り語つた。

1. 首切りに対する交渉では成果がなく第3ばストを決行  
したが、カデナ第2ゲート等に集中的にピケを動員し得た  
ことは大成功だと評価する。しかし、スト中多数の負しよ  
う者を出したことは遺憾であり、警察当局に厳重に抗議  
する。

2. ピケに対し、基地業者とのトラブルがなかつたことは  
彼らも理解を示はじめたものと受取つてゐる。

3. 来週早々にも米側と積極的に団交を進めていきたい。

4. 今後継続的に退職金、賃金問題等について闘争を進め  
ていくが、復帰後の問題を含め今後検討したい。

5. 復帰協は5月のセネストを決定しているが、全軍労と  
しては組織の点検、独自の要求等もあるので、第4ばスト  
をどうするか含め今後検討したい。(シマブクロ副委員

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

長は、全軍労は財政的なか字の問題をかかえており、またセネスト以前に解決すべき問題もあるから本来メリットで第4ばストを検討すべき時期に際会しており、この時に復帰協がセネストを決定したことにおどろいている旨補足した。)

6. 第1ば、第2ばともストによる処分は出なかつた。この点スト権のだつかんという大きな意味があつた。

7. 間接雇用制の問題は、制度そのものの適用はよいが、おきなわにおいては初任給が高い等の利点もあり、これらは既得権としてから取つていく必要があり、更にほり下げて検討して取り組んで行きたい。

(了)

外務省